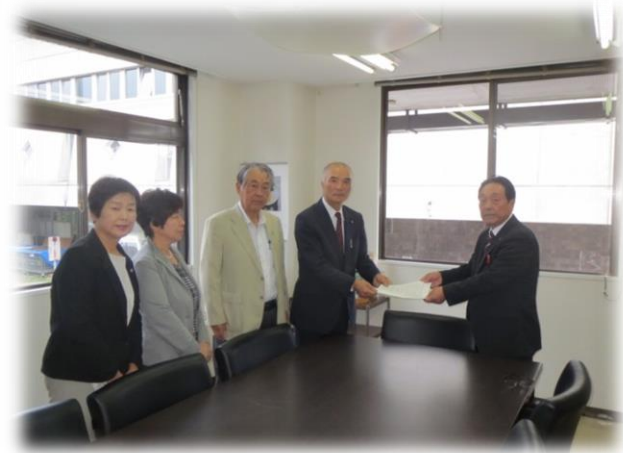


〔別冊資料〕



第4次飯綱町政策サポーター会議

【第1回】平成30年11月20日（火） 元気の館

第1章

政策サポーター制度の説明

1. 町議会はなぜ、この制度をつくったか

2つの理由

- ・ 開かれた議会とするためにも議会活動への町民参加を広げる。
- ・ 町民の知恵も借りて政策づくりを協働ですすめる。



2. サポーターの位置付け

飯綱町議会基本条例（抜粋）

第7条 議会は、政策提言活動に積極的に取り組む。その際、町民目線での政策研究の一環として「政策サポーター制度」を創設することができる。

飯綱町議会政策サポーター設置要綱（抜粋）

第1条 町民と議会との協働により町政発展の政策提言に取り組み、新しい知恵と創意を結集して町づくりのための政策立案を目的として、議会政策サポーター（以下「サポーター」という。）を設置する。

3. サポーターの役割

飯綱町議会政策サポーター設置要綱（抜粋）

第6条 サポーターは、議会及び町の政策について意見を提言するとともに、飯綱町全般について町民の意見を聴取するほか、議会の依頼に応じて会議、アンケート、調査事項への協力等を行うものとする。

4. 実績

【第1次飯綱町議会政策サポーター会議（平成22年4月～11月）】

構成 12名（公募2名・要請10名）（男性10名、女性2名）

テーマ① 「行財政改革研究会」

テーマ② 「都市との交流・人口増加研究会」

【第2次飯綱町議会政策サポーター会議（平成25年6月～平成26年6月）】

構成 15名（公募3名・要請12名）（男性8名、女性7名）

テーマ① 「新たな人口増対策」

テーマ② 「集落機能の強化と行政との協働」

【第3次飯綱町議会政策サポーター会議（平成27年6月～11月）】

構成 16名（要請16名）（男性7名、女性9名）

テーマ① 「飯綱町における高齢者の新しい暮らし方（健康戦略）の提起」

テーマ② 「都市・農村の共生へ—新しい産業を生み出し、若者定住の促進を」

第2章

2つのテーマ設定の理由

テーマ①

『日本一住みたいまちづくりー20年後のために今なすべきこと』

少子高齢化、人口減少社会が叫ばれ、消滅自治体も唱えられる昨今、地方自治の現場においては様々な課題が山積しています。

今回、第4次政策サポーターの福祉文教常任委員会でのメインテーマは、『日本一住みたいまちづくりー20年後のために今なすべきこと』です。

テーマを模索する中、委員会内で検討した結果、第2次飯綱町総合計画で重点的に挑戦する分野として、「日本一女性が住みたくなる町へ」とうたっていることから、それを起点にみんなで議論し、20年後の飯綱町が今以上に住み良い町であるように、現状では不足していることや今後懸念される課題などを洗いざらい検討し、解決に向けて政策立案したものを町に提言する予定です。

次回の会議からは、具体的に女性のみならず誰もが住みたくなる多様性あふれた町を目指して、普段感じていること、疑問に思っていること、違和感を覚えることなどを気兼ねなく話し合いながら、会議を進行してまいります。

テーマ② 『魅力ある農業再生を目指して』

飯綱町は農業と観光を基幹産業に位置づけている。平成29年度から「第2次飯綱町総合計画」に基づき、向こう10年間のあり方（将来像）を目指し、スタートしたところである。

なお、重点的に挑戦する分野としては、「日本一のりんごの町へ」及び「日本一女性が住みたくなる町へ」を掲げている。

また、同計画を5年ごとに前期と後期に分け、さらに3年間の実施計画により施策の具現化を図るため、各施策を展開している。

併せて、国・県の総合戦略に基づき、「飯綱町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業」を策定している。19事業のうち、農業に関する部門として、「世界に誇る力強い産業形成事業」により、鋭意取り組みを行っている。《次ページへ》

しかし、農業を取り巻く情勢は、農業基幹的従事者の高齢化、後継者を含め担い手不足など、生産基盤の脆弱化が進み、農業所得の減少、農地の荒廃化などが拡大し、今後を見据えると危機的状況と危惧される。

おって、農家のリタイアも加速化している昨今、「人・農地プラン」による農地の担い手への貸し借り機能も不十分と思われ、条件不利地等を含めた土地基盤再整備も喫緊の課題と思慮される。

このため、飯綱町議会としては、現況を検証のうえ、「魅力ある農業再生を目指し」、儲かる農業を構築する必要に鑑み、サポーター各位の知恵をお借りし、議員と協働の力により町へ政策提言を行い、テーマに沿った農業の活性化と持続的発展を目的として、当該テーマを設定したところである。

第3章

会議の進め方、スケジュール

1. 会議の進め方、スケジュール



- ・ 1月から月1～2回程度の開催を予定
- ・ 会議は、平日の夜間とし、2時間以内
- ・ 町長への政策提言は、5月を予定



第4章

報酬等 事務連絡

1. 報 酬

飯綱町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例（抜粋）

第1条 特別職の職員で非常勤の者（議会の議員を除く。以下「特別職の職員」という。）の報酬は、別表第1のとおりとする。

別表第1（抜粋）

区 分	報酬の額
その他の特別職の職員	予算に範囲内において他の職との権衡を考慮して任命権者が定める額



1回当たり4,000円（ただし源泉徴収有り:3.063%）を会議終了後、概ね20日以内に指定口座へ送金

2. 事務連絡

■ 服 装

会議の際の服装については、議員も含め自由とします。

■ 会議の公開

会議は、原則として公開とします。

■ 会議録（要点）の公開

会議録は、発言者氏名を除き、原則公開とします。

■ 写 真

会議の様子など、町ホームページや広報紙、各種資料において使用させていただきます。

■ 取材依頼

各種メディアからの取材依頼については、個別に相談させていただきます。